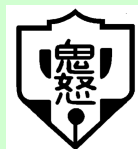


# 鬼怒中だより

第2号



令和 2年 6月 5日  
発行者 校長 柿沼 靖雄

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

## 学校が再開しました

4月9日の入学式の後から続いていた臨時休業がようやく終了し、学校が再開されました。休業期間は実質的に昨年度の3月からになるので、3か月間という長期間になってしまいました。生徒にとっても、ご家庭にとっても経験のないことであり、いろいろな苦労やストレスがあったことと思います。我々教職員にとっても、生徒の声や姿のない学校は初めてのことであり、とても不思議な感覚と、生徒に関われないもどかしさがありました。5月に入り、市より分散登校の実施についての指示が出たことにより、教職員が準備に動き始めましたが、生き生きと動き回る姿に、改めて、「子どもあつての学校・子どもあつての教師なのだ」という思いを強くしました。6月1日より学校が再開され、今年度初めて全生徒が同時に学校に登校しました。校長室からは、教室の窓や校庭に生徒の姿が見えたり、廊下を歩く生徒の声が聞こえたりしています。



授業風景



給食（全員前向きで）



身体計測（視力検査）

## 学校経営方針

令和2年度の学校経営方針を次のように策定いたしました。

生徒を中心とした、活力に満ちた明るく、楽しい学校づくりを目指し、全教職員が和を大切に、協力、情熱、人間尊重の精神を基盤に「生きる力」をはぐくむ教育に取り組むとともに、地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 安全指導の徹底と健康体力の増進
- (4) 特別支援教育の充実

- (5) 小中一貫教育の推進
- (6) 家庭・地域との連携強化
- (7) 教職員の健康・安全管理と資質の向上

これからやってくる社会は、「グローバル化・情報化の進展、コンピュータ等の技術革新等により予測できない社会」だと言われています。そのような未来で生きていく子供たちは、『自分で考え・解決し・行動する』ことが必要になります。本校では、その時に必要な知識や技能・判断力・行動力等を『生きる力』にとらえ、すべての教育活動の中で『生きる力』を育む教育活動を推進してまいります。



当然、これらの力は学校教育だけで身に付くものではなく、家庭や地域が担わなければならないことや、互いに連携を図りながら取り組んでいくべきものもあります。未来に生きる子供たちの育成のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 学校行事等の変更について

新型コロナウイルス感染症対策により、多くの学校行事等が中止や変更になりました。既にお知らせしているものもありますが、改めて大きな変更について、お知らせいたします。今後の状況により、更に変更する場合もございます。

#### 長期休業期間の変更

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| ①夏季休業  | 8月 1日(土)～8月16日(日)(全市同じ) |
| ②学期間休業 | 10月10日(土)～12日(月)        |
| ③冬季休業  | 12月26日(土)～1月5日(火)       |

#### 学校行事

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| ①体育祭    | → 中止                    |
| ②冒険活動教室 | → 10月20日(火) 日帰りに変更      |
| ③社会体験学習 | → 中止                    |
| ④修学旅行   | → 9月6日(日)～8日(火) 東北方面に変更 |

### 授業時数の確保について

学校休業により実施できなかった授業時数については、「長期休業期間を短縮する」「水曜日に第6校時を実施する日を設ける」「実施できない行事等の時間を授業に振り替える」「教育相談等の際の授業時間を見直す」等の対応により、現段階において文部科学省が定める標準時数の確保ができております。新型コロナウイルス対策のため、例年通りの授業ができなかったり、単元を入れ替える必要がある教科があったりしますが、学習方法や授業の進め方を工夫するなどの対策をとり、確かな学力の定着を目指してまいります。

